

[CDS-DS4000 ストレージ導入事例]

大規模仮想化システム高速ストレージ導入事例

要求されるシステム課題：

- 大規模仮想化システムを実現する高いパフォーマンス性能
- 新規プロジェクトに対応する仮想化ソフトウェアのサポート
- ストレージシステムの運用管理の簡略化

時代遅れの IT インフラストラクチャーは非常に複雑で、管理コストがかかり、時には、あるステップから次のステップに進むまでに、スタッフが 30 分も待たされることもありました。

ソリューション：

- SSD キャッシュ・パフォーマンス向上 (SAS SSD*3 + SAS HDD*16)
- 16Gb/s ファイバーチャネルによる高速ホストインタフェース
- 仮想化ソフトウェアとの互換性
- 集中管理ソフトウェア SANWatch による容易な操作

DS ストレージ導入による効果：

CDS-DS4000 による SSD キャッシュオプションによって、高い IO 性能と導入コストのバランスのとれたストレージが導入でき、起動時間の劇的な短縮がされました。

システム構成図：

